

本年度からスタートした政治経済学部での韓国短期留学。9月4日～17日の2週間に及ぶ留学が無事終了いたしました。

本留学は、政治経済学部の留学促進プログラムの一つとして実施されたもので、初回となる今年度は9名の学生が参加しました。本プログラムではまず、延世大学（原州キャンパス）College of Government and Businessにて、英語で行われる通常授業に1週間参加。その後ソウルで歴史上日本と関わりのある諸施設と北朝鮮との非武装地帯の見学、また大田で国立 Hanbat 大学での特別授業の受講と飛鳥文化の発展に深いつながりのあった百済の都跡を訪れるという日程でした。

韓国三大大学の一つとして名高い延世大学では、受け入れ先である College of Government and Business（受入担当教員 Lew, Kwang Soo 教授）で、Yoo, Chung Sik 学部長ご承認の下、30科目以上ある政治・経済・歴史・文化に関する英語の専門授業を受講しました。各学生とも10コマ以上を受講することを条件に、専門に応じて任意で聴講しました。また国際行政学会会長の Kim, Pan Suk 教授に韓国行政に関する特別講義を頂きました。また同大学の寮で滞在をする中で、延世大学生と交流を深める機会が多くあり、勉強のことから生活のことまで様々な見識を得る機会となりました。



特別講義の様子



延世大学原州キャンパス エンブレムの前にて

ソウルでは光化門、景福宮、国立民族博物館、タプゴル公園等歴史上日本と関わりのある諸施設を見学するとともに、北朝鮮との非武装地帯を見学するツアーにも参加しました。ツアーでは北朝鮮軍が韓国側に兵隊を送れるよう秘密裏に掘られ、現在存在が確認されて

いる4つのトンネルの一つ、第三トンネルと、北朝鮮を最も近くから見ることのできるトラ展望台を見学しました。



光化門前



朝鮮戦争時、韓国軍・北朝鮮軍双方から受けた数千発の弾痕が残る機関車

大田では国立 Hanbat 大学日本語学科長 Yun, Jae Seug 教授、忠南大学 Yun, Hye-Young 助教授から韓国の文化と歴史に関する特別講義を受講しました。また日本への仏教伝来、飛鳥文化に大きな影響を与えた、百済の都があった公州と扶余（プヨ）を見学しました。大田滞在中、国立 Hanbat 大学生より様々な形でサポートをしていただきました。延世大学と同じく、学生間の深い交流を行うことができました。



国立 Hanbat 大学特別講義の様子



公州 百済の山城門の前にて